

授業科目名 (英文名)	教職論 (Theory of Teacher)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	1年次・前期集中
担当教員	尾崎 公子 竹内 和雄	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>本講義では、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容など教職の在り方について理解することを目的とするとともに、自らの適性を判断する進路選択の機会とし、教職への意欲を高めることを目的とする。</p> <p>本講義の到達目標は、1)公教育の目的とその担い手たる教員の存在意義を理解していること、2)進路選択に向け、他の職業との比較を通して、教職の職業的特徴を理解していること、3)教職観の変遷を踏まえ、今日の教員に求められる役割を理解していること、4)今日の教員に求められる基礎的な資質能力を理解していること、5)生徒への指導及び指導以外の公務を含めた教員の職務の全体像を理解していること、6)教員研修の意義及び制度上の位置付け並びに専門職として適切に職務を遂行するため生涯にわたって学び続けることの必要性を理解していること、7)教員に課せられる服務上・身分上の義務及び身分保障を理解していること、8)校内の教職員や多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を理解していること。</p>		
講義内容・授業計画	<p>【講義内容】 教員の身分・研修等教職に関わる制度、そしてこれまでの教員像をめぐる論議を取り上げ、近年の社会変化の中で新たに求められるようになっていく教員の働きを講じていく。さらに、教職経験者等を招き、現場の具体的な状況に触れ、進路選択に資する機会を設ける。</p> <p>【授業計画】 第1回：ガイダンス 本講義の目標・概要説明 第2回：「教員」についてのブレインストーミング - 教員に求められる資質能力とは 第3回：教職の意義 - 公教育制度と教員 第4回：教職の歴史 第5回 教員像 聖職論、専門職論、労働者論 第6回：教員像 教職とジェンダー 第7回：教員像 次世代の学校と教員 第8回：教職制度 教員の服務・身分保障 第9回：教職制度 研修、教員評価 第10回：チーム学校運営 第11回：求められる教員の役割 生徒との関わり 第12回：求められる教員の役割 保護者との関わり 第13回：求められる教員の役割 地域との関わり 第14回：教職という進路選択について 第15回：まとめと評価（到達度の確認）</p>		
テキスト	なし		
参考文献	本図愛美『新・教育の制度と経営』（学事出版）、教員免許状取得希望者および「教育制度論」を受講予定者は購入が望ましい。		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準 教職の意義、役割、職務内容、チーム学校運営への対応について理解し、説明できる者に単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する知識能力の到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>成績評価の方法 ディスカッションなど受講態度30%、レポート・小テスト70%を基準として総合的に評価する。</p>		

履修上の注意・履修要件	<p>教員免許状取得希望者であること。 履修者は教職を目指すものとして、『教育六法』等によって講義内容の復習をすること</p> <p>当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とする場合があります。自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p>
実践的教育	進路選択に資する機会を設けるため、ゲストティーチャーとして中学校及び高等学校教職経験者を招く。
備考	備考 担当教員は教員政策、生徒指導論の研究を行っている。この講義では、担当教員の専門分野である教育学をベースとして、教職を目指す者に対する学問的/実践的基礎知識を教授する。詳細は、 https://cv01.ufinity.jp/u_hyogo/ を参照のこと。